

燃料費等調整単価のお知らせ

〔高圧・特別高圧：標準供給条件、選択供給条件〕
〔2025年4月見直し後の市場価格調整を適用のお客さま〕

2026 年 4 月 分

燃料費等調整単価

区 分			燃料費調整単価		離島 ユニバーサル サービス 調整単価	市場価格 調整単価	燃料費等 調整単価 (合計)
			基準燃料費調整単価	割引単価※			
高 圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲0.98円	▲0.80円	▲0.04円	0.69円	▲1.13円
特別高圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲0.96円	—	▲0.04円	0.67円	▲0.33円

- 2026年4月分の燃料費調整単価は、2025年11月～2026年1月の平均燃料価格により算出されます。
- 2026年4月分の離島ユニバーサルサービス調整単価は、2025年11月～2026年1月の離島平均燃料価格により算出されます。
- 2026年4月分の市場価格調整単価は、2026年1月21日～2026年2月20日の平均市場価格により算出されます。
- 燃料費等調整単価の推移については、当社ホームページ (<https://www.kyuden.co.jp/business/menu/adjustment-past.html>) をご覧ください。
- ※ 燃料費調整単価に国の「電気・ガス料金支援」による割引を反映しています。
詳細は、資源エネルギー庁の特設サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>) をご覧ください。

平均燃料価格

区 分	2025年11月 ～ 2026年1月	平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	67,489円/kL	36,100円/kL	46,100円/kL
平均液化天然ガス価格	85,943円/t		
平均石炭価格	18,685円/t		

- 平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

離島平均燃料価格

区 分	2025年11月 ～ 2026年1月	離島平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 離島平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	67,489円/kL	67,500円/kL	79,300円/kL
平均液化天然ガス価格	85,943円/t		
平均石炭価格	18,685円/t		

- 離島平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

平均市場価格

区 分	単 位	2026年1月21日 ～ 2026年2月20日	平均市場価格
市場価格	1 kWhあたり	全日	10.64円
		昼間	

- 平均市場価格は1か月間のスポット市場価格(九州エリア)の全日(24時間)・昼間(6～18時)の単純平均値を合成係数(全日:0.4627、昼間:0.5373)で加重平均したものです。

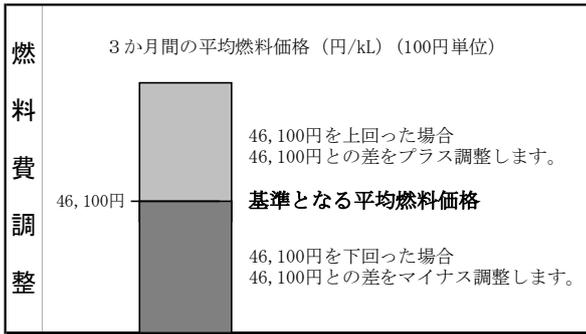
調整実施の基準となる 平均市場価格	1 kWhあたり	8.22円
----------------------	----------	-------

- 平均市場価格が8.22円を上回った場合はプラス調整、8.22円を下回った場合はマイナス調整を行います。

九州電力株式会社

燃料費調整制度の概要

火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の平均燃料価格が46,100円/kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●基準燃料費調整単価（2026年4月分）

$$= \left[\frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準値}}{1,000} \right] \times \frac{\text{基準単価}}{1,000}$$

$$= \left[\frac{(36,100\text{円}) - (46,100\text{円})}{1,000} \right] \times \frac{0.098\text{円 (高圧の場合)}}{1,000} = \boxed{\text{▲}0.98\text{円}^*} \text{ (税込)}$$

*小数点第3位四捨五入

※基準単価

平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.098円/kWh
特別高圧	0.096円/kWh

●平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ（100円未満四捨五入）

A：平均燃料価格算定期間における1kLあたりの平均原油価格

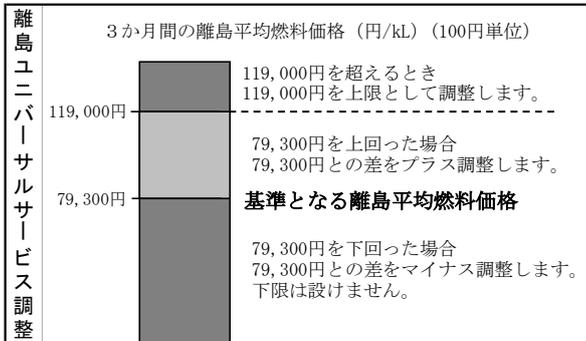
B：平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均液化天然ガス価格

C：平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均石炭価格

α：0.0028 α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
β：0.1819
γ：1.0863

離島ユニバーサルサービス調整制度の概要

離島供給に係る火力燃料費の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の離島平均燃料価格が79,300円/kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●離島ユニバーサルサービス調整単価（2026年4月分）

$$= \left[\frac{\text{離島平均燃料価格} - \text{基準値}}{1,000} \right] \times \frac{\text{離島基準単価}}{1,000}$$

$$= \left[\frac{(67,500\text{円}) - (79,300\text{円})}{1,000} \right] \times \frac{0.003\text{円}}{1,000} = \boxed{\text{▲}0.04\text{円}^*} \text{ (税込)}$$

*小数点第3位四捨五入

※離島基準単価

離島平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.003円/kWh
特別高圧	0.003円/kWh

●離島平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ（100円未満四捨五入）

A：離島平均燃料価格算定期間における1kLあたりの平均原油価格

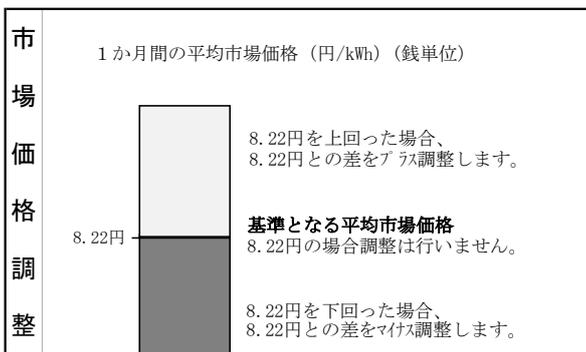
B：離島平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均液化天然ガス価格

C：離島平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均石炭価格

α：1.0000 α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
β：0.0000
γ：0.0000

市場価格調整制度の概要

卸電力取引市場における市場価格の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、1か月間の平均市場価格が8.22円/kWh（基準となる平均市場価格）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●市場価格調整単価（2026年4月分）

平均市場価格

$$= \left(\frac{\text{全日平均値} \times \text{合成係数} + \text{昼間平均値} \times \text{合成係数}}{1,000} \right) \times \frac{\text{基準単価}}{1,000}$$

$$= \left(\frac{(11.13\text{円} \times 0.4627) + (10.22\text{円} \times 0.5373)}{1,000} \right) \times \frac{0.284\text{円 (高圧の場合)}}{1,000} = \boxed{10.64\text{円}^*} \text{ (税込)}$$

*小数点第3位四捨五入

⇒平均市場価格が8.22円を上回ったため、プラス調整

$$= \left(\frac{10.64\text{円} - 8.22\text{円}}{1,000} \right) \times \frac{0.284\text{円 (高圧の場合)}}{1,000} = \boxed{0.69\text{円}^*} \text{ (税込)}$$

*小数点第3位四捨五入

※調整係数

平均市場価格が1.00円/kWh変動した場合の電気料金単価への影響額

高圧	0.284円/kWh
特別高圧	0.278円/kWh

電気料金の計算方法

$$\text{電気料金} = \text{基本料金 (税込)} + \text{電力量料金 (税込)} \pm \text{燃料費調整額 (税込)} \pm \text{離島ユニバーサルサービス調整額 (税込)} \pm \text{市場価格調整額 (税込)} + \text{再エネ賦課金 (税込)}$$

*1 平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*2 離島平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

*3 平均市場価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。

燃料費等調整単価のお知らせ

〔高圧・特別高圧：標準供給条件、選択供給条件〕
〔2025年4月見直し前の市場価格調整を適用のお客さま〕

2026 年 4 月 分

燃料費等調整単価

区 分			燃料費調整単価		離島 ユニバーサル サービス 調整単価	市場価格 調整単価	燃料費等 調整単価 (合計)
			基準燃料費調整単価	割引単価※			
高 圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲0.98円	▲0.80円	▲0.04円	0.00円	▲1.82円
特別高圧	業務用電力A、 産業用電力Aなど	1 kWh につき	▲0.96円	—	▲0.04円	0.00円	▲1.00円

- 2026年4月分の燃料費調整単価は、2025年11月～2026年1月の平均燃料価格により算出されます。
 - 2026年4月分の離島ユニバーサルサービス調整単価は、2025年11月～2026年1月の離島平均燃料価格により算出されます。
 - 2026年4月分の市場価格調整単価は、2026年1月21日～2026年2月20日の平均市場価格により算出されます。
 - 燃料費等調整単価の推移については、当社ホームページ (<https://www.kyuden.co.jp/business/menu/adjustment-past.html>) をご覧ください。
- ※ 燃料費調整単価に国の「電気・ガス料金支援」による割引を反映しています。
詳細は、資源エネルギー庁の特設サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>) をご覧ください。

平均燃料価格

区 分	2025年11月 ～ 2026年1月	平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	67,489円/kL	36,100円/kL	46,100円/kL
平均液化天然ガス価格	85,943円/t		
平均石炭価格	18,685円/t		

- 平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

離島平均燃料価格

区 分	2025年11月 ～ 2026年1月	離島平均燃料価格 (原油換算)	料金設定の基準となる 離島平均燃料価格 (原油換算)
平均原油価格	67,489円/kL	67,500円/kL	79,300円/kL
平均液化天然ガス価格	85,943円/t		
平均石炭価格	18,685円/t		

- 離島平均燃料価格は3か月間の貿易統計実績によるものです。

平均市場価格

区 分	単 位	2026年1月21日 ～ 2026年2月20日	平均市場価格
市場価格	1 kWhあたり	全日	10.64円
		昼間	

- 平均市場価格は1か月間のスポット市場価格（九州エリア）の全日（24時間）・昼間（6～18時）の単純平均値を合成係数（全日：0.4627、昼間：0.5373）で加重平均したものです。

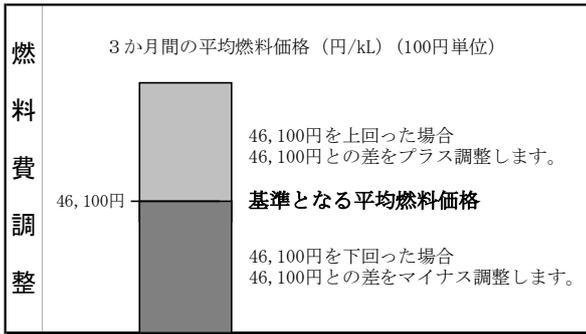
調整実施の基準となる 平均市場価格	1 kWhあたり	[プラス調整] 13.00円	[マイナス調整] 6.00円
----------------------	----------	----------------	----------------

- 平均市場価格が6.00円以上13.00円以下の場合、調整は行いません。

九州電力株式会社

燃料費調整制度の概要

火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の平均燃料価格が46,100円/kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●基準燃料費調整単価（2026年4月分）

$$= \left[\frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準値}}{1,000} \right] \times \frac{\text{基準単価}}{1,000}$$

$$= \left[\frac{(36,100\text{円}) - (46,100\text{円})}{1,000} \right] \times \frac{0.098\text{円 (高圧の場合)}}{1,000} = \boxed{\Delta 0.98\text{円}^*}$$

*小数点第3位四捨五入

※基準単価

平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.098円/kWh
特別高圧	0.096円/kWh

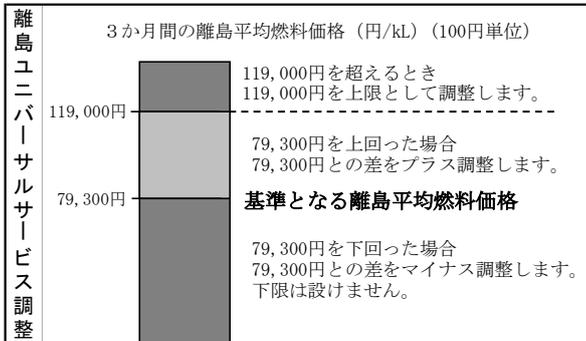
●平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ（100円未満四捨五入）

A：平均燃料価格算定期間における1kLあたりの平均原油価格
 B：平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均液化天然ガス価格
 C：平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均石炭価格

α：0.0028 α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
 β：0.1819
 γ：1.0863

離島ユニバーサルサービス調整制度の概要

離島供給に係る火力燃料費の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、3か月間の離島平均燃料価格が79,300円/kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●離島ユニバーサルサービス調整単価（2026年4月分）

$$= \left[\frac{\text{離島平均燃料価格} - \text{基準値}}{1,000} \right] \times \frac{\text{離島基準単価}}{1,000}$$

$$= \left[\frac{(67,500\text{円}) - (79,300\text{円})}{1,000} \right] \times \frac{0.003\text{円}}{1,000} = \boxed{\Delta 0.04\text{円}^*}$$

*小数点第3位四捨五入

※離島基準単価

離島平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.003円/kWh
特別高圧	0.003円/kWh

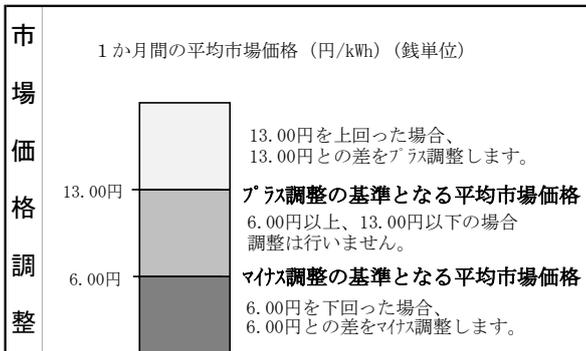
●離島平均燃料価格 = A × α + B × β + C × γ（100円未満四捨五入）

A：離島平均燃料価格算定期間における1kLあたりの平均原油価格
 B：離島平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均液化天然ガス価格
 C：離島平均燃料価格算定期間における1tあたりの平均石炭価格

α：1.0000 α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）
 β：0.0000
 γ：0.0000

市場価格調整制度の概要

卸電力取引市場における市場価格の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、1か月間の平均市場価格がプラス調整の基準価格を上回った場合、またはマイナス調整の基準価格を下回った場合、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●市場価格調整単価（2026年4月分）

平均市場価格

$$= \left[\frac{\text{全日平均値} \times \text{合成係数} - \text{昼間平均値} \times \text{合成係数}}{1,000} \right] \times \frac{10.64\text{円}^*}{1,000}$$

*小数点第3位四捨五入

⇒平均市場価格が6.00円以上、13.00円以下のため調整なし

・平均市場価格が13.00円を上回った場合 … プラス調整

$$\left[\frac{\text{平均市場価格} - 13.00\text{円}}{1,000} \right] \times \text{調整係数}$$

・平均市場価格が6.00円を下回った場合 … マイナス調整

$$\left[\frac{6.00\text{円} - \text{平均市場価格}}{1,000} \right] \times \text{調整係数}$$

※調整係数

平均市場価格が1.00円/kWh変動した場合の電気料金単価への影響額

高 圧	0.284円/kWh
特別高圧	0.278円/kWh

電気料金の計算方法

$$\text{電気料金} = \text{基本料金 (税込)} + \text{電力量料金 (税込)} \pm \text{燃料費調整額 (税込)} \pm \text{離島ユニバーサルサービス調整額 (税込)} \pm \text{市場価格調整額 (税込)} + \text{再エネ賦課金 (税込)}$$

- *1 平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。
 *2 離島平均燃料価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。
 *3 平均市場価格が基準値から上昇したときは+、下落したときは-になります。
 （平均市場価格が6.00円以上13.00円以下の場合、調整は行いません。）